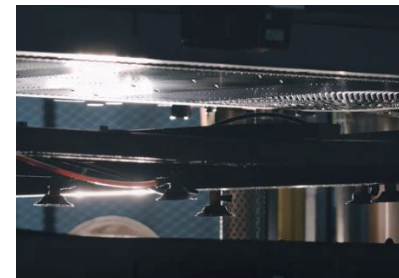


証券コード：6247

2022年3月期 決算説明会 資料



2022年6月1日

株式会社 日阪製作所



目次

■ 会社概要	・ ・ ・	2
■ 2022年3月期決算の概要	・ ・ ・	4
■ 2023年3月期決算の見通し	・ ・ ・	15
■ 中期経営計画「 G-20 」の概要	・ ・ ・	21
■ 中期経営計画「 G-20 」取り組み施策	・ ・ ・	27

会社概要

社名 **株式会社 日阪製作所**

創業年月 1942年5月（昭和17年5月） 創業80周年



事業内容 産業機械製造販売業（熱交換器、蒸発・蒸留・凝縮装置、染色仕上機器、食品機器、医薬機器、ボールバルブなど）、発電事業

資本金 41億5千万円

発行済株式総数 32,732,800株

株式上場 東京証券取引所 プライム市場

売上高 300億円（連結／2022年3月期）

従業員数 919名（連結／2022年3月末）

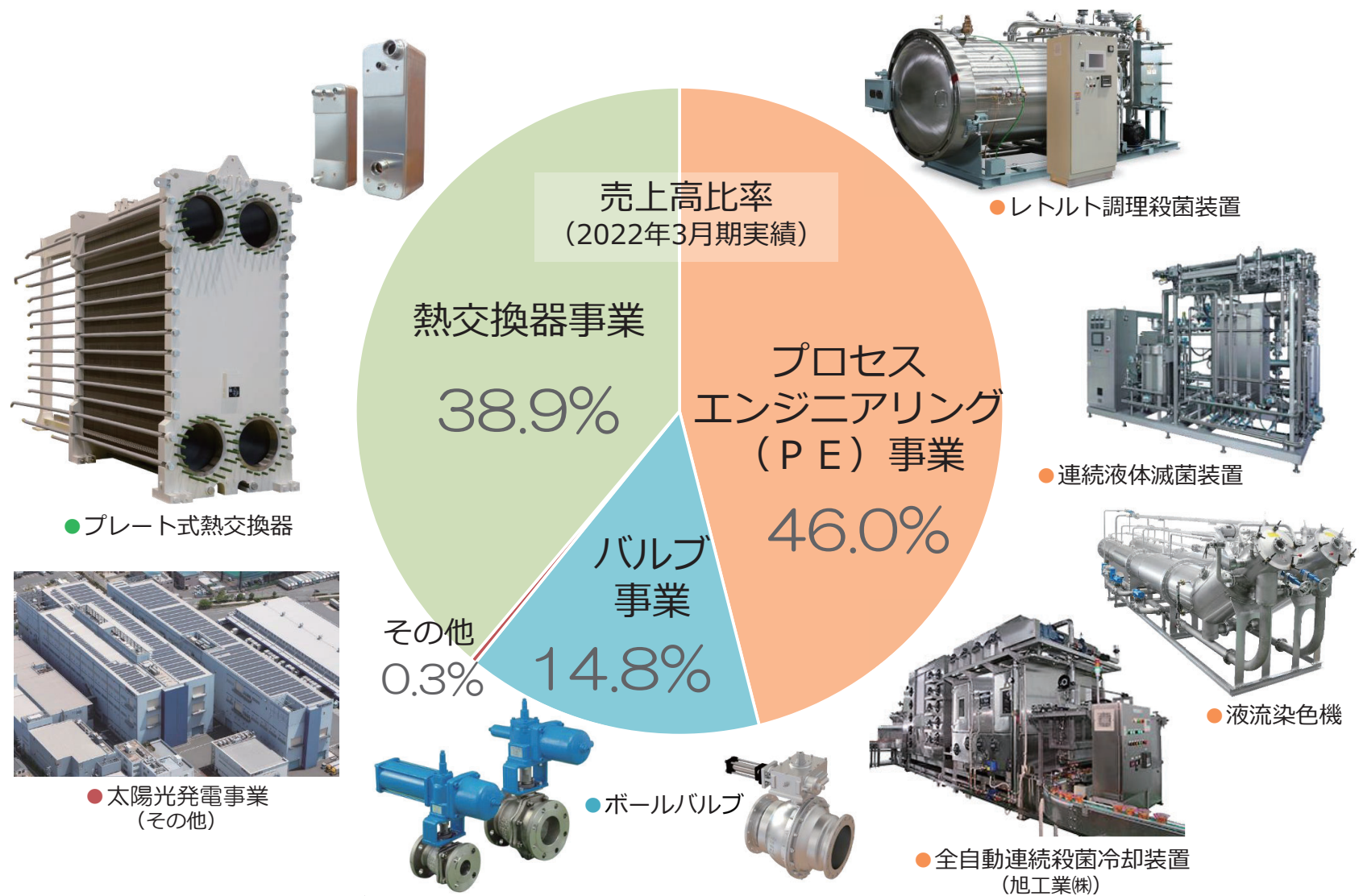
関係会社数 11社（海外関係会社含む）

国内拠点 大阪本社、鴻池事業所、青梅事業所
東京・名古屋・九州・北九州支店、北海道・さいたま・千葉・尾道営業所

海外拠点 マレーシア、フィリピン、ベトナム、タイ、シンガポール、インドネシア、中国、サウジアラビア、韓国

※2022年4月4日現在

日阪グループの事業構成





2022年3月期 決算の概要

1-①. 決算の概要 (前期比)

(百万円)

	2021年3月期 通期		2022年3月期 通期		増減	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
受注高	28,165	—	34,685	—	6,520	23.2%
うち、海外受注高	4,137		7,118		2,980	72.0%
売上高	28,437	—	30,085	—	1,648	5.8%
うち、海外売上高	4,258		5,908		1,649	38.7%
営業利益	1,409	5.0%	1,819	6.0%	410	29.1%
経常利益	1,765	6.2%	2,270	7.5%	505	28.6%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,212	4.3%	2,058	6.8%	846	69.8%

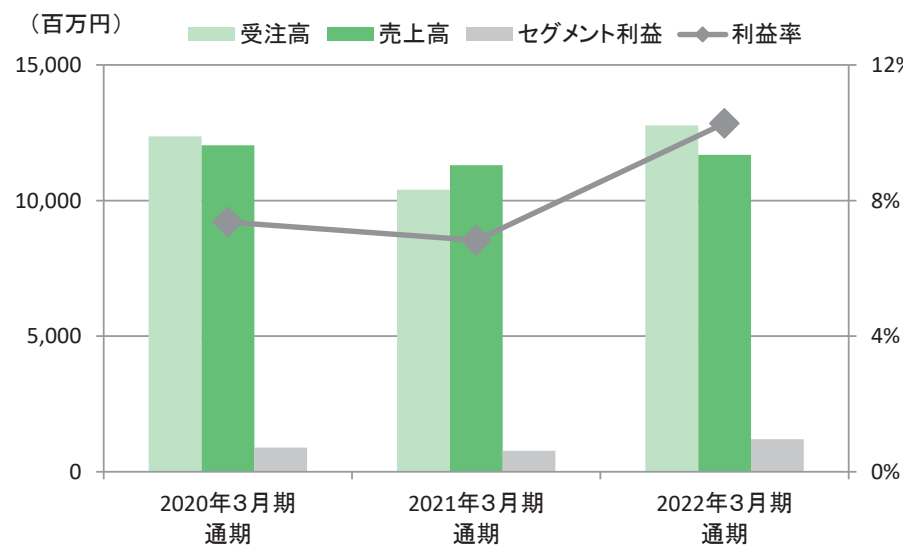
1-②. 決算の概要 (計画比)

(百万円)

	2022年3月期 通期		2022年3月期 通期			
	計画	利益率	実績	利益率	計画比	
					差額	達成率
受注高	31,500	—	34,685	—	3,185	110.1%
売上高	31,000	—	30,085	—	▲ 914	97.1%
営業利益	1,700	5.5%	1,819	6.0%	119	107.0%
経常利益	1,900	6.1%	2,270	7.5%	370	119.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,320	4.3%	2,058	6.8%	738	156.0%

2-①. 熱交換器事業

	2021年3月期 通期		2022年3月期 通期		増減	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
受注高	10,405	—	12,769	—	2,364	22.7%
うち、海外受注高	2,016		3,205		1,188	59.0%
売上高	11,298	—	11,691	—	392	3.5%
うち、海外売上高	1,656		2,483		826	49.9%
セグメント利益	771	6.8%	1,201	10.3%	430	55.8%



<受注高>

- 半導体や空調、産業機械向けの中小型汎用品、船舶の新造案件やメンテナンスが好調に推移
- プラント向けのメンテナンス関連を受注

<売上高>

- 中小型汎用品やプラント向けのメンテナンス関連が好調に推移
- × 前年度の受注低迷の影響により船舶向けが低調

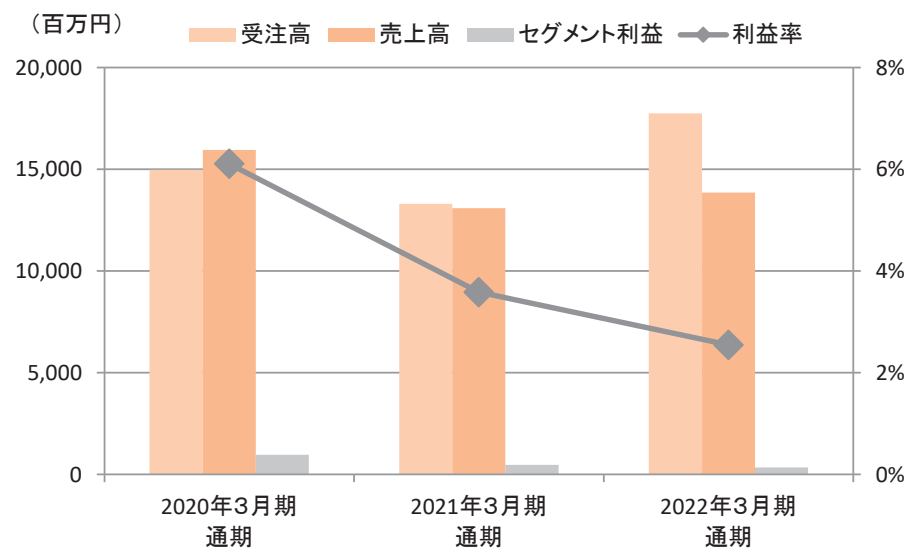
<セグメント利益>

- 売上高の増加
- セールスマックスの改善

2-②. プロセスエンジニアリング事業

(百万円)

	2021年3月期 通期		2022年3月期 通期		増減	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
受注高	13,307	—	17,748	—	4,441	33.4%
うち、海外受注高	1,442		3,408		1,966	136.3%
売上高	13,100	—	13,853	—	753	5.7%
うち、海外売上高	2,084		2,624		540	25.9%
セグメント利益	469	3.6%	352	2.5%	▲ 116	▲ 24.8%



<受注高>

- 食品機器、染色仕上機器の引き合いが回復基調
- 医薬機器で大口案件

<売上高>

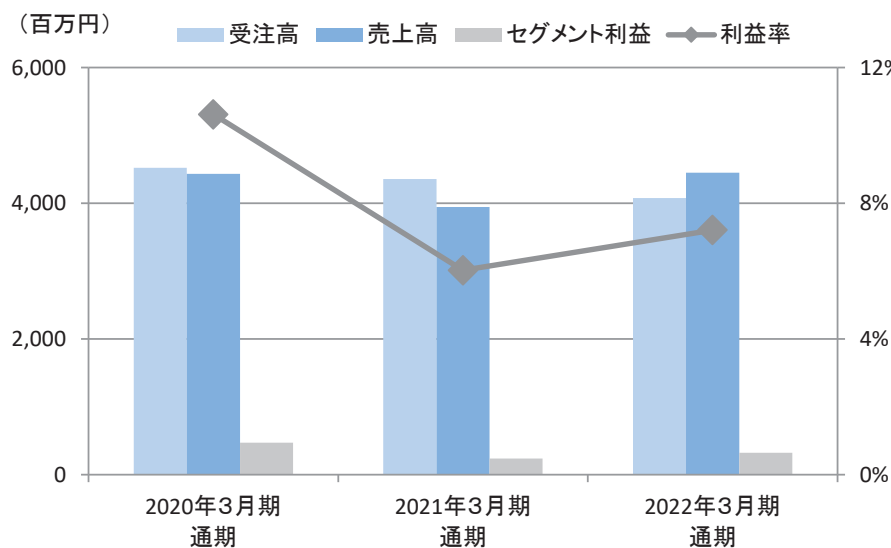
- 新型コロナウイルスワクチンなどの培養プラントをはじめ 医薬機器の納入案件が増加
- 中国向けに染色仕上機器の大口案件

<セグメント利益>

- × 不採算案件による引当金計上

2-③. バルブ事業

	2021年3月期 通期		2022年3月期 通期		増減	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
受注高	4,358	—	4,077	—	▲ 280	▲ 6.4%
うち、海外受注高	678		504		▲ 174	▲ 25.7%
売上高	3,945	—	4,451	—	505	12.8%
うち、海外売上高	517		800		282	54.6%
セグメント利益	237	6.0%	321	7.2%	83	35.0%



<受注高>

- × 化学業界やチョコレート業界向けが低調
- × 海外大口案件の反動減

<売上高>

- 化学業界向けの豊富な受注残
- 二次電池向けの売上が堅調

<セグメント利益>

- 売上高の増加

3-①. セグメント別の業績（受注高、売上高）

(百万円)

	2021年3月期 通期		2022年3月期 通期		増減	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
熱交換器事業	10,405	36.9%	12,769	36.8%	2,364	22.7%
プロセスエンジニアリング事業	13,307	47.3%	17,748	51.2%	4,441	33.4%
バルブ事業	4,358	15.5%	4,077	11.7%	▲ 280	▲ 6.4%
その他	93	0.3%	89	0.3%	▲ 4	▲ 4.4%
受注高	28,165	100%	34,685	100%	6,520	23.2%
熱交換器事業	11,298	39.7%	11,691	38.9%	392	3.5%
プロセスエンジニアリング事業	13,100	46.1%	13,853	46.0%	753	5.7%
バルブ事業	3,945	13.9%	4,451	14.8%	505	12.8%
その他	93	0.3%	89	0.3%	▲ 4	▲ 4.4%
売上高	28,437	100%	30,085	100%	1,648	5.8%

3-②. セグメント別の業績（営業利益、受注残高）

(百万円)

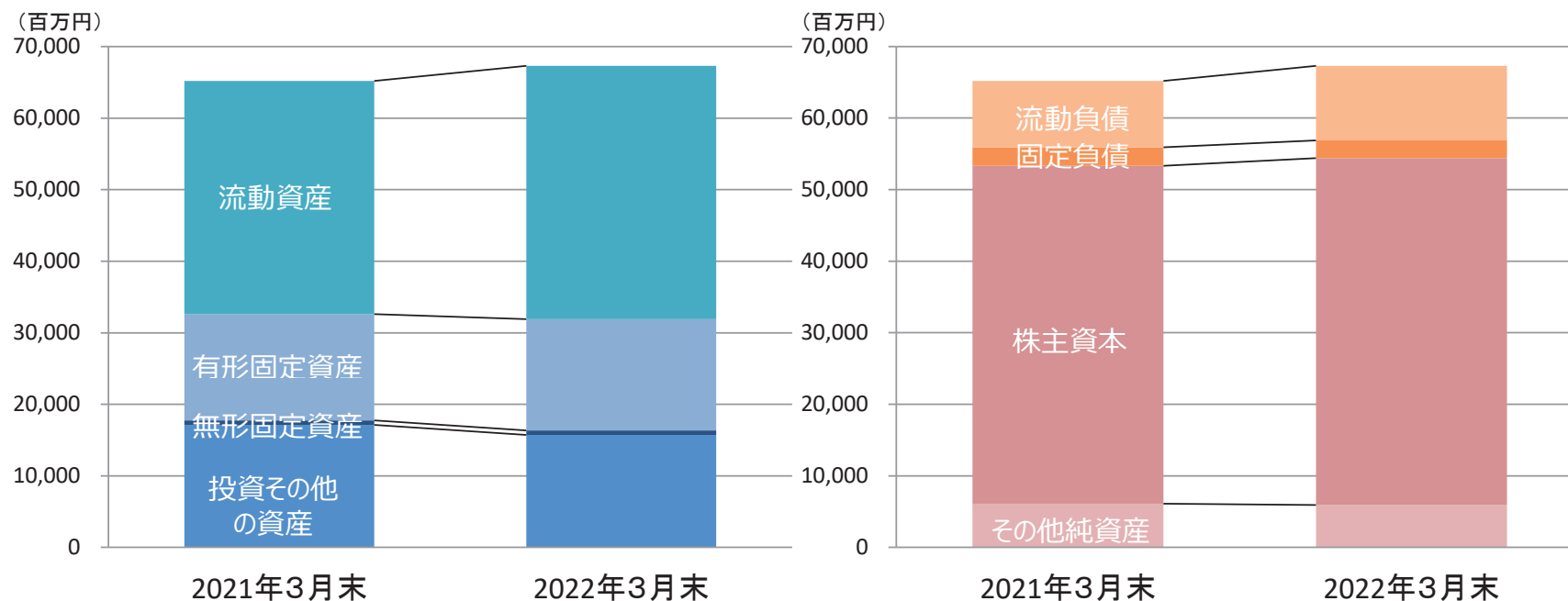
	2021年3月期 通期		2022年3月期 通期		増減	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
熱交換器事業	771	49.9%	1,201	61.9%	430	55.8%
プロセスエンジニアリング事業	469	30.4%	352	18.2%	▲ 116	▲ 24.8%
バルブ事業	237	15.4%	321	16.6%	83	35.0%
その他	66	4.3%	64	3.3%	▲ 1	▲ 2.6%
小計	1,544	100%	1,940	100%	395	25.6%
調整額	▲ 135	—	▲ 120	—	15	—
営業利益	1,409	—	1,819	—	410	29.1%
熱交換器事業	3,130	22.2%	4,209	22.5%	1,078	34.5%
プロセスエンジニアリング事業	9,497	67.4%	13,392	71.7%	3,895	41.0%
バルブ事業	1,463	10.4%	1,089	5.8%	▲ 373	▲ 25.5%
その他	—	—	—	—	—	—
受注残高	14,090	100%	18,690	100%	4,599	32.6%

3-③. セグメント別の業績 (計画比)

(百万円)

	2022年3月期 通期		2022年3月期 通期		計画比	
	計画	構成比	実績	構成比	差額	達成率
熱交換器事業	11,600	36.8%	12,769	36.8%	1,169	110.1%
プロセスエンジニアリング事業	15,900	50.5%	17,748	51.2%	1,848	111.6%
バルブ事業	3,900	12.4%	4,077	11.7%	177	104.6%
その他	100	0.3%	89	0.3%	▲ 10	89.7%
受注高	31,500	100%	34,685	100%	3,185	110.1%
熱交換器事業	11,000	35.5%	11,691	38.9%	691	106.3%
プロセスエンジニアリング事業	15,600	50.3%	13,853	46.0%	▲ 1,746	88.8%
バルブ事業	4,300	13.9%	4,451	14.8%	151	103.5%
その他	100	0.3%	89	0.3%	▲ 10	89.7%
売上高	31,000	100%	30,085	100%	▲ 914	97.1%
熱交換器事業	930	47.7%	1,201	61.9%	271	129.2%
プロセスエンジニアリング事業	690	35.4%	352	18.2%	▲ 337	51.1%
バルブ事業	270	13.8%	321	16.6%	51	118.9%
その他	61	3.1%	64	3.3%	3	106.4%
小計	1,951	100%	1,940	100%	▲ 10	99.5%
調整額	▲ 251	—	▲ 120	—	130	—
営業利益	1,700	—	1,819	—	119	107.0%

4. 資産・負債・純資産の状況



	2021年3月末	2022年3月末	増減額
流動資産	32,597	35,404	2,807
有形固定資産	14,863	15,562	699
無形固定資産	615	627	12
投資その他の資産	17,124	15,707	▲ 1,417
固定資産合計	32,603	31,897	▲ 705
資産合計	65,200	67,302	2,102

	2021年3月末	2022年3月末	増減額
流動負債	9,306	10,442	1,135
固定負債	2,558	2,481	▲ 76
負債合計	11,865	12,924	1,058
株主資本	47,210	48,457	1,246
その他純資産	6,124	5,920	▲ 203
純資産合計	53,335	54,378	1,043
負債純資産合計	65,200	67,302	2,102

5. キャッシュ・フローの状況

	2021年3月期 通期	(百万円) 2022年3月期 通期
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,933	3,147
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 563	▲ 159
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 803	▲ 863
現金及び現金同等物に係る換算差額	11	95
現金及び現金同等物の増減額	2,578	2,219
現金及び現金同等物の期首残高	11,344	13,922
現金及び現金同等物の期末残高	13,922	16,141



2023年3月期 決算の見通し

6. 通期計画の概要(上期・下期・通期)

(百万円)

	2022年3月期 実績			2023年3月期 計画			増減額			増減率		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
受注高	17,307	17,378	34,685	17,750	17,750	35,500	442	371	814	2.6%	2.1%	2.3%
売上高	13,961	16,124	30,085	16,200	18,300	34,500	2,238	2,175	4,414	16.0%	13.5%	14.7%
営業利益	701	1,118	1,819	950	1,550	2,500	248	431	680	35.4%	38.6%	37.4%
営業利益率	5.0%	6.9%	6.0%	5.9%	8.5%	7.2%	0.8 pt	1.5 pt	1.2 pt	-	-	-
経常利益	937	1,332	2,270	1,150	1,650	2,800	212	317	529	22.7%	23.8%	23.3%
経常利益率	6.7%	8.3%	7.5%	7.1%	9.0%	8.1%	0.4 pt	0.7 pt	0.6 pt	-	-	-
親会社株主に帰属 する当期純利益	689	1,368	2,058	800	1,140	1,940	110	▲ 228	▲ 118	16.0%	▲ 16.7%	▲ 5.8%
純利益率	4.9%	8.5%	6.8%	4.9%	6.2%	5.6%	▲ 0.0 pt	▲ 2.3 pt	▲ 1.2 pt	-	-	-

7-①. セグメント別の見通し(通期)

(百万円)

	2022年3月期 通期		2023年3月期 通期		増減	
	実績	構成比	計画	構成比	増減額	増減率
熱交換器事業	12,769	36.8%	13,400	37.7%	630	4.9%
プロセスエンジニアリング事業	17,748	51.2%	17,400	49.0%	▲ 348	▲ 2.0%
バルブ事業	4,077	11.7%	4,600	13.0%	522	12.8%
その他	89	0.3%	100	0.3%	10	11.5%
受注高	34,685	100%	35,500	100%	814	2.3%
熱交換器事業	11,691	38.9%	13,000	37.7%	1,308	11.2%
プロセスエンジニアリング事業	13,853	46.0%	16,900	49.0%	3,046	22.0%
バルブ事業	4,451	14.8%	4,500	13.0%	48	1.1%
その他	89	0.3%	100	0.3%	10	11.5%
売上高	30,085	100%	34,500	100%	4,414	14.7%
熱交換器事業	1,201	61.9%	1,320	48.5%	118	9.9%
プロセスエンジニアリング事業	352	18.2%	1,070	39.4%	717	203.2%
バルブ事業	321	16.5%	270	9.9%	▲ 51	▲ 15.9%
その他	64	3.3%	60	2.2%	▲ 4	▲ 7.6%
小計	1,940	100%	2,720	100%	779	40.2%
調整額	▲ 120	—	▲ 220	—	▲ 99	—
営業利益	1,819	—	2,500	—	680	37.4%

7-②. セグメント別の見通し(上期・下期)

(百万円)

	2022年3月期 実績		2023年3月期 計画		増減額	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期
熱交換器事業	6,104	6,664	6,700	6,700	595	35
プロセスエンジニアリング事業	9,153	8,594	8,700	8,700	▲ 453	105
バルブ事業	2,002	2,075	2,300	2,300	297	224
その他	47	42	50	50	2	7
受注高	17,307	17,378	17,750	17,750	442	371
熱交換器事業	5,551	6,139	6,300	6,700	748	560
プロセスエンジニアリング事業	6,006	7,846	7,700	9,200	1,693	1,353
バルブ事業	2,356	2,095	2,150	2,350	▲ 206	254
その他	47	42	50	50	2	7
売上高	13,961	16,124	16,200	18,300	2,238	2,175
熱交換器事業	499	702	520	800	20	97
プロセスエンジニアリング事業	63	289	370	700	306	410
バルブ事業	142	178	130	140	▲ 12	▲ 38
その他	35	29	30	30	▲ 5	0
小計	740	1,199	1,050	1,670	309	470
調整額	▲ 39	▲ 81	▲ 100	▲ 120	▲ 60	▲ 38
営業利益	701	1,118	950	1,550	248	431

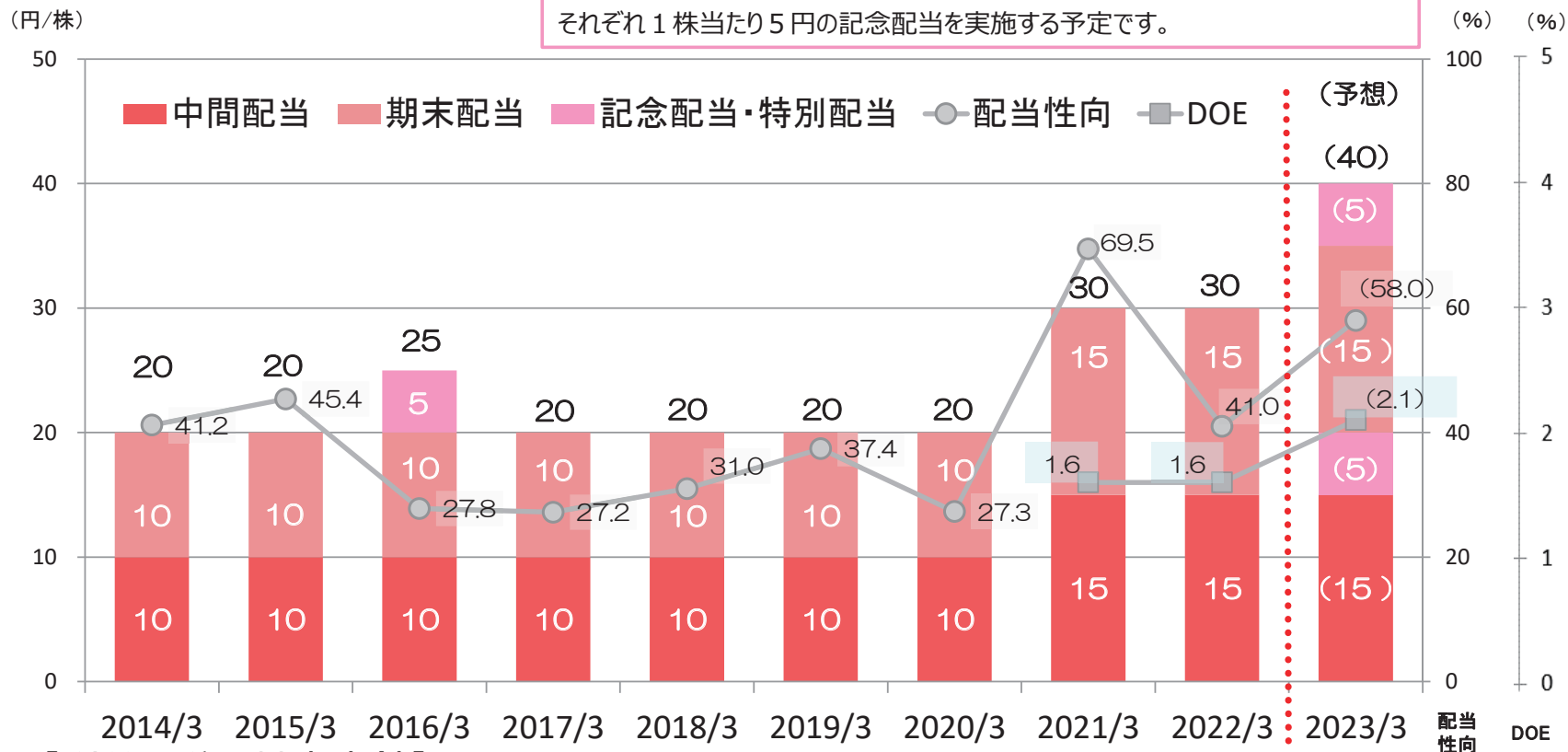
8. 設備投資・減価償却の状況

(百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	
	実績	実績	実績	上期計画	計画
設備投資	3,260	1,424	1,757	1,400	5,500
内容	熱交換器事業のソフトウェア、青梅事業所工場建設、生駒事業所の事業用地取得 など	熱交換器事業のソフトウェア、プロセスエンジニアリング事業・バルブ事業の機械設備、生駒事業所の造成工事 など	各事業の機械設備や金型の更新、生駒事業所の造成工事 など	熱交換器事業の生産能力増強及びソフトウェア、プロセスエンジニアリング事業の設備更新、バルブ事業の金型、生駒事業所の建築工事 など	
減価償却	1,137	997	1,130	540	1,160

9. 配当の計画

創立80周年を記念し、2023年3月期の第2四半期末及び期末配当において、それぞれ1株当たり5円の記念配当を実施する予定です。



【利益配分の基本方針】

全てのステークホルダーの皆様に対し「公平」且つ「公正」を念頭に置きつつ、財務体質と経営基盤の強化を図りながら、株主の皆様に対する適正な利益の還元を基本方針としています。具体的には、内部留保とのバランスを考慮しつつ、連結純資産及び連結業績の状況を勘案し、**連結純資産配当率(DOE)1.5%以上**を目途に継続的・安定的な配当に努めます。

中期経営計画

「G-20」の概要

10-①. 「G-20」ビジョン、スローガン

2020年度～2022年度 中期経営計画

G-20

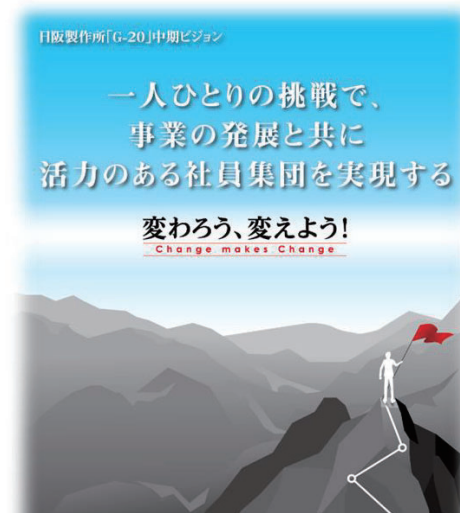
Growth Governance
Global Goal

ビジョン

一人ひとりの挑戦で、事業の発展と共に
活力のある社員集団を実現する

スローガン

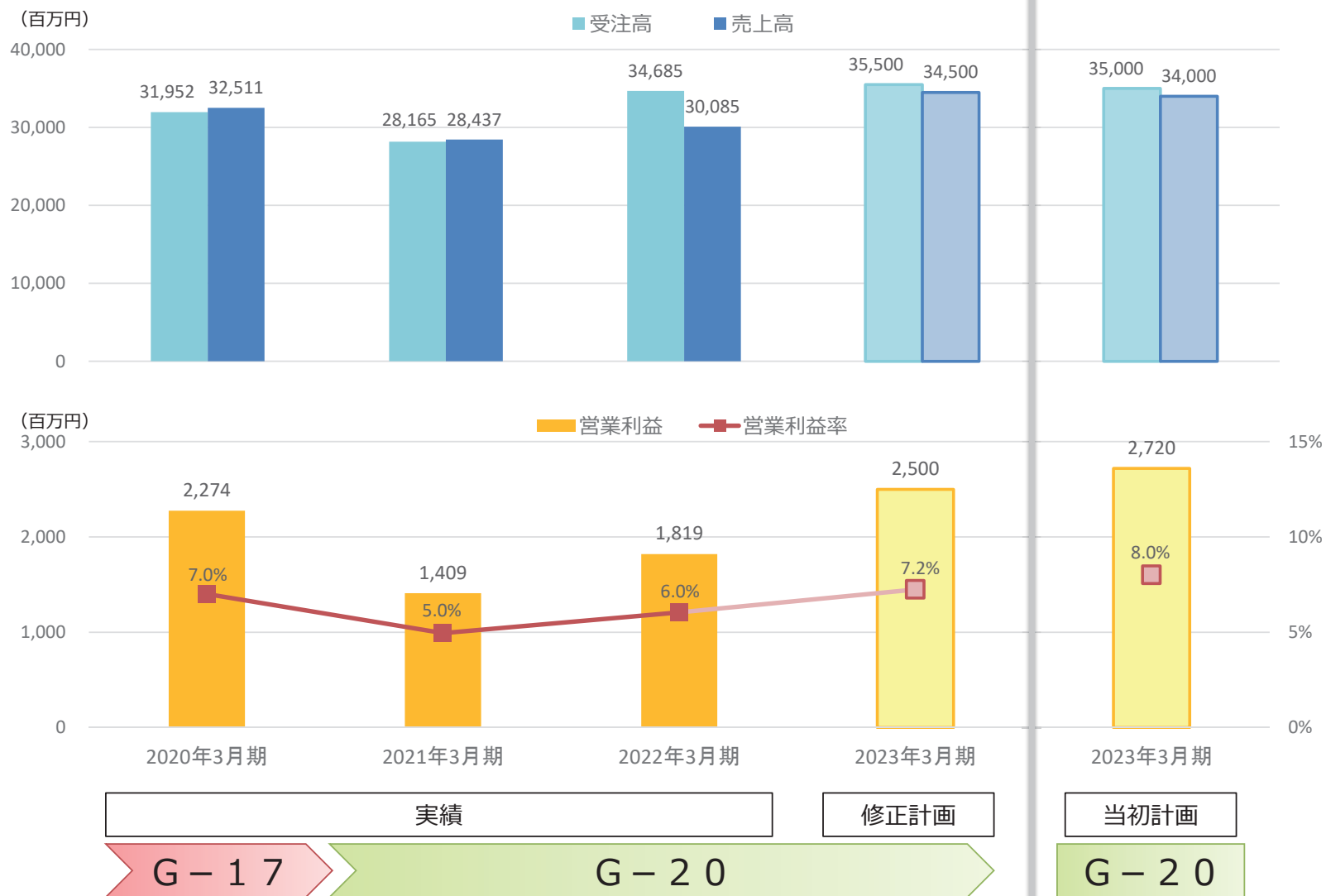
新たな取り組みで新たな価値を創造し、
圧倒的な存在感No.1企業を
全員で実現しよう！



日版製作所「G-20」スローガン

圧倒的な存在感No.1企業 **創造** 新たな取り組みで新たな価値を創造し、
新たな価値の **創造** 圧倒的な存在感No.1企業を
Value Creation 全員で実現しよう!

10-②. 「G-20」 連結業績推移



10-③. 「G-20」連結業績目標

(百万円)

	G-17 最終年度	G-20目標				増減率 $\frac{B-A}{A}$
	2020年 3月期 実績 A	2021年 3月期 実績	2022年 3月期 実績	2023年 3月期		
				修正計画 B	当初計画	
受注高	31,952	28,165	34,685	35,500	35,000	11.1%
売上高	32,511	28,437	30,085	34,500	34,000	6.1%
営業利益	2,274	1,409	1,819	2,500	2,720	9.9%
営業利益率	7.0%	5.0%	6.0%	7.2%	8.0%	+0.2pt
経常利益	2,573	1,765	2,270	2,800	2,920	8.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,080	1,212	2,058	1,940	2,000	▲ 6.7%
ROE	4.1%	2.3%	3.8%	3.6%	3.8%	▲0.5pt

※：増減率は「G-17」2020年3月期と「G-20」2023年3月期（修正計画）の比較です。

※：2020年3月期は特別利益により当期純利益が増加したことにより、ROEが高水準となっております。

10-④. セグメント別業績目標

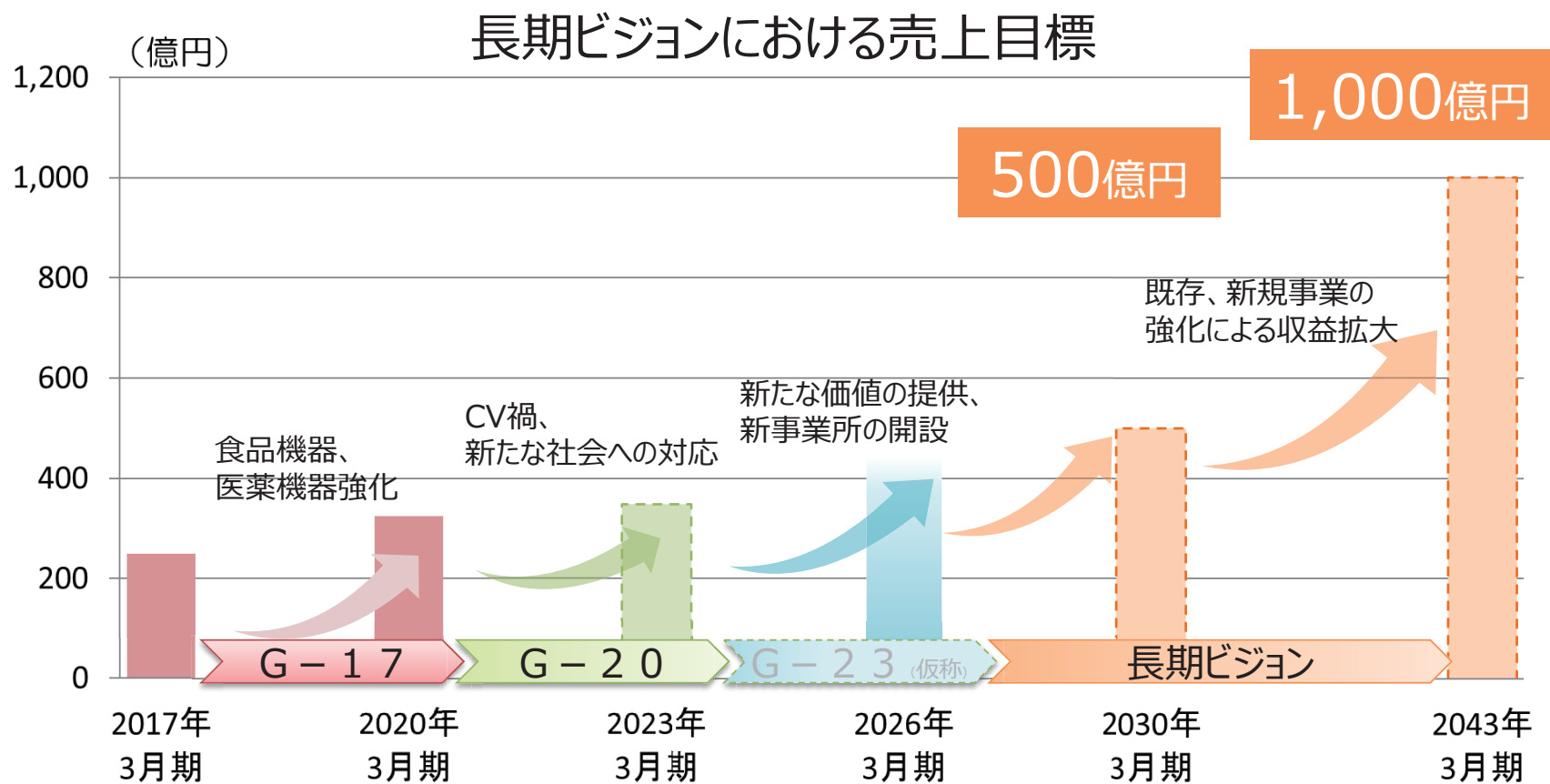
(百万円)

	G-17 最終年度 2020年3月期		G-20 最終年度 2023年3月期				増減	
	実績	構成比	修正計画	構成比	当初計画	構成比	増減額	増減率
熱交換器事業	12,368	38.7%	13,400	37.7%	13,200	37.6%	1,031	8.3%
プロセスエンジニアリング事業	14,981	46.9%	17,400	49.0%	17,400	49.6%	2,418	16.1%
バルブ事業	4,524	14.2%	4,600	13.0%	4,400	12.5%	75	1.7%
その他	78	0.2%	100	0.3%	100	0.3%	21	27.8%
小計	31,952	100%	35,500	100%	35,100	100%	3,547	11.1%
調整額	—	—	—	—	▲ 100	—	—	—
受注高	31,952	—	35,500	—	35,000	—	3,547	11.1%
熱交換器事業	12,041	37.0%	13,000	37.7%	12,800	37.5%	958	8.0%
プロセスエンジニアリング事業	15,957	49.1%	16,900	49.0%	16,900	49.6%	942	5.9%
バルブ事業	4,434	13.6%	4,500	13.0%	4,300	12.6%	65	1.5%
その他	78	0.3%	100	0.4%	100	0.3%	21	27.8%
小計	32,511	100%	34,500	100%	34,100	100%	1,988	6.1%
調整額	—	—	—	—	▲ 100	—	0	—
売上高	32,511	—	34,500	—	34,000	—	1,988	6.1%
熱交換器事業	887	37.3%	1,320	48.5%	1,200	41.5%	432	48.7%
プロセスエンジニアリング事業	975	41.1%	1,070	39.4%	1,300	45.0%	94	9.7%
バルブ事業	471	19.8%	270	9.9%	350	12.1%	▲ 201	▲ 42.7%
その他	43	1.8%	60	2.2%	40	1.4%	16	39.2%
小計	2,377	100%	2,720	100%	2,890	100%	342	14.4%
調整額	▲ 103	—	▲ 220	—	▲ 170	—	▲ 116	—
営業利益	2,274	—	2,500	—	2,720	—	225	9.9%

※：増減は「G-17」2020年3月期と「G-20」2023年3月期（修正計画）の比較です。

11. 長期売上目標

長期目標（2043年3月期（創業100周年）売上高1,000億円）に向け、現中期経営計画G-20の達成、次期中計G-23（仮称）策定を進める



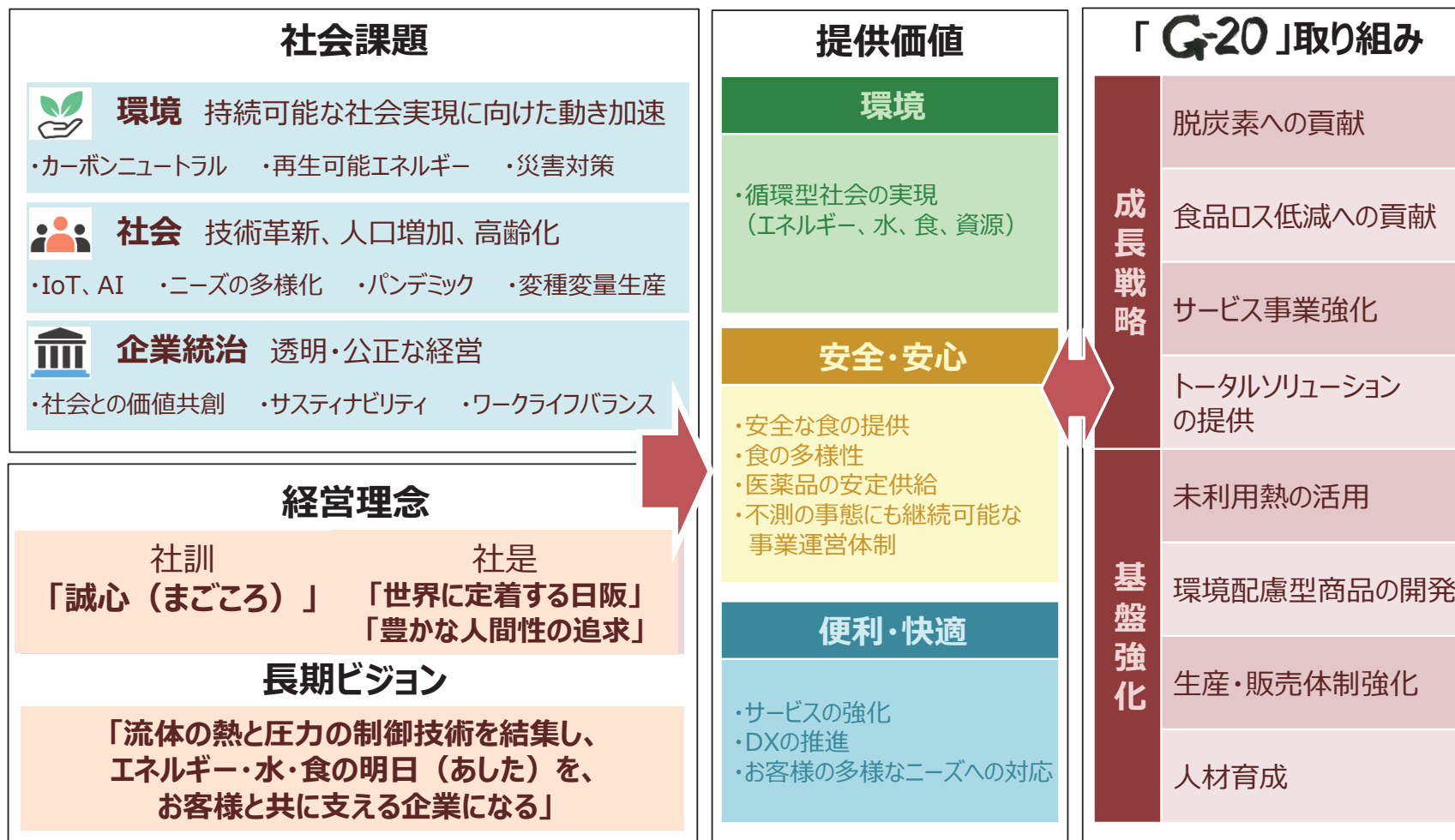
中期経営計画

「G-20」

主な取り組み施策

12-①. 「G-20」 取り組み指針

様々な社会課題に対して当社の価値を提供し、持続可能な社会の実現に貢献する。



12-②. 「G-20」当社が取り組む領域

※後ほど詳細を説明

	環境	安全・安心	便利・快適	
成長戦略	脱炭素  ※①CO2回収プラント用熱交換器	食品ロス低減 	殺菌 (食品向け)  培養  滅菌 (医薬向け) 	サービス事業強化 遠隔サービス (DX) メンテナンスまるごとばっく  ※②食品プラント向け
	未利用熱の活用提案 	環境配慮型製品 節水、省エネ 	高品質 (食品・医療・半導体)  乳化 濃縮 バルブ	トータルソリューション 「きっと・もっと・ずっと」一熱で未来を創造する The Thermal Solution Company ニーズを汲んだ商品開発 ラインアップ拡充 (開発・協業)  チョコ弁 ※③バルブ拡充
基盤強化	生産体制強化 生駒事業所の開設と鴻池事業所の再構築 ※④生駒事業所 進捗状況 HNPS HISAKA NEW PRODUCTION SYSTEM 		販売体制強化 さいたま営業所開設 ('22/4) 人材育成 サステナビリティ委員会設置 TCFDへの取り組み	

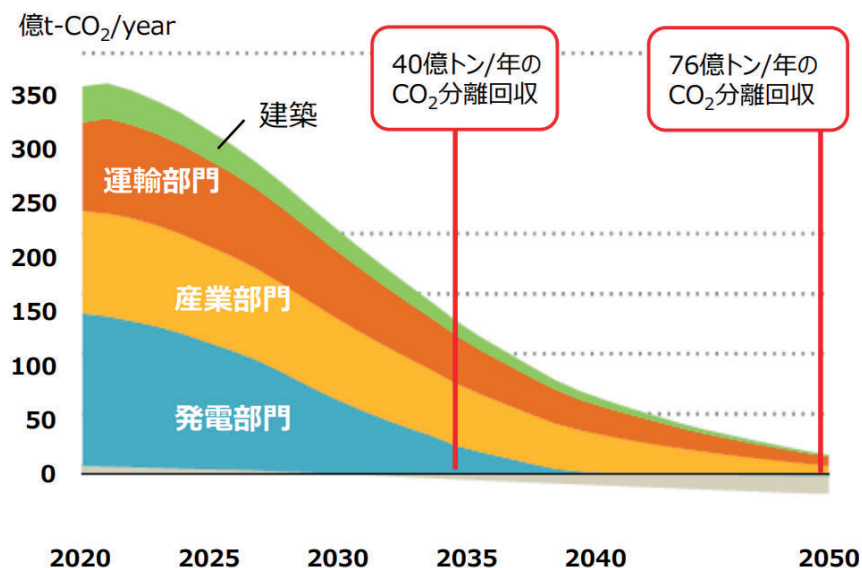
13-①. CO₂回収の世界市場

カーボンニュートラル実現に向け、CO₂回収への期待は大きい

CO₂回収シナリオ

2035年に40億トン、2050年に76億トンのCO₂を分離回収※IEA(国際エネルギー機関)の予想

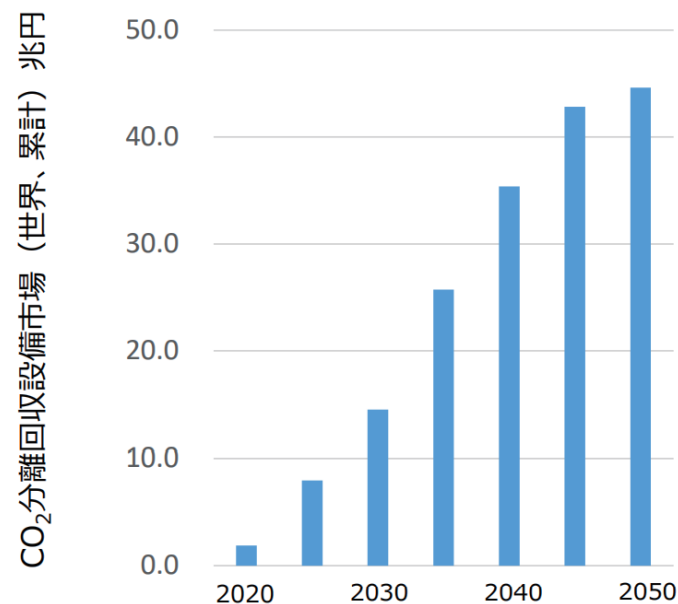
ネットゼロエミッションシナリオにおける世界のCO₂排出量



CO₂分離回収設備市場規模予測

設備投資規模は累計で、2035年までに25兆円、2050年には45兆円となると予測

CO₂排出量分離回収設備市場



累計設備市場は、ETP2017のB2DSにおける分離回収量とCO₂回収量あたりの設備費を乗することで試算。CO₂回収設備コストは、低炭素社会戦略センター(LCS)「CCS(二酸化炭素回収貯留)の概要と展望分離回収コスト」を参考とし、毎年3%の価格低下があると仮定してMETI試算。

※2021/9経済産業省「CO₂の分離・回収等技術開発」プロジェクトの研究開発。社会実装の方向性より

13-②. CO₂回収プラント向け熱交換器

CO₂回収プラント用熱交換器「SX-80」

化学吸収法を用いたCO₂回収プロセスにおけるアミン溶液の熱交換に最適

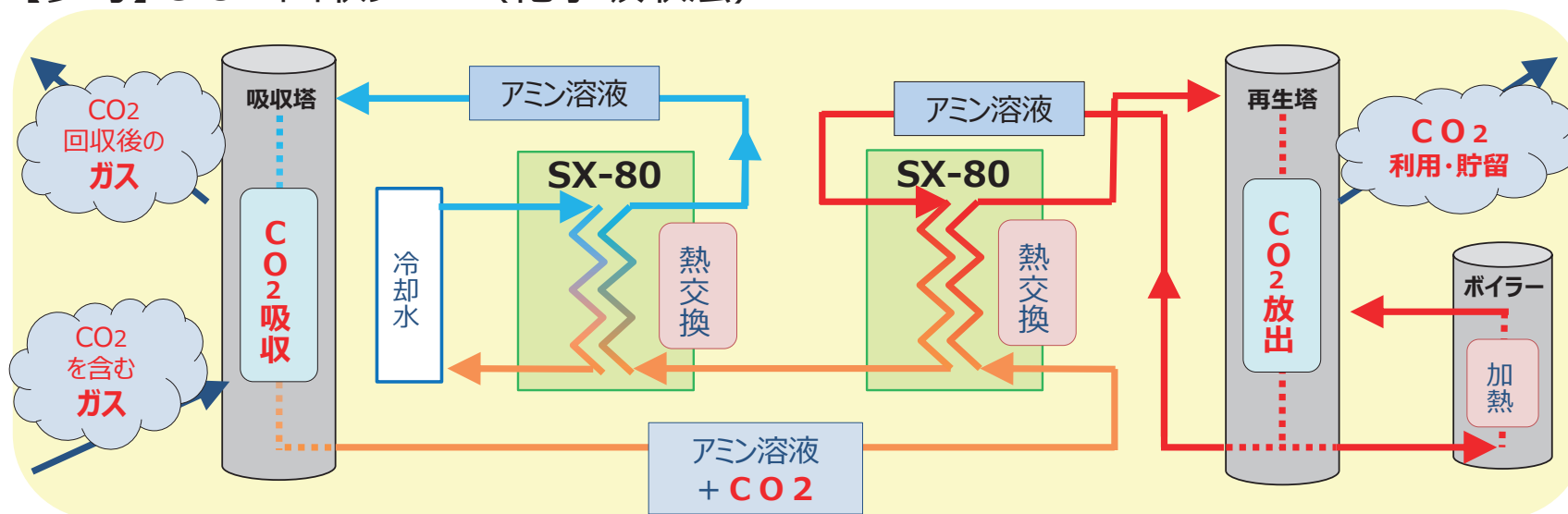
高い伝熱性能

独自のプレートで高い電熱性能を実現。
再生塔に必要な蒸気量を削減。

高い耐薬品性

耐熱性、対アミン耐性に優れた新開発の
ガスケットで安定的なシール性を実現。

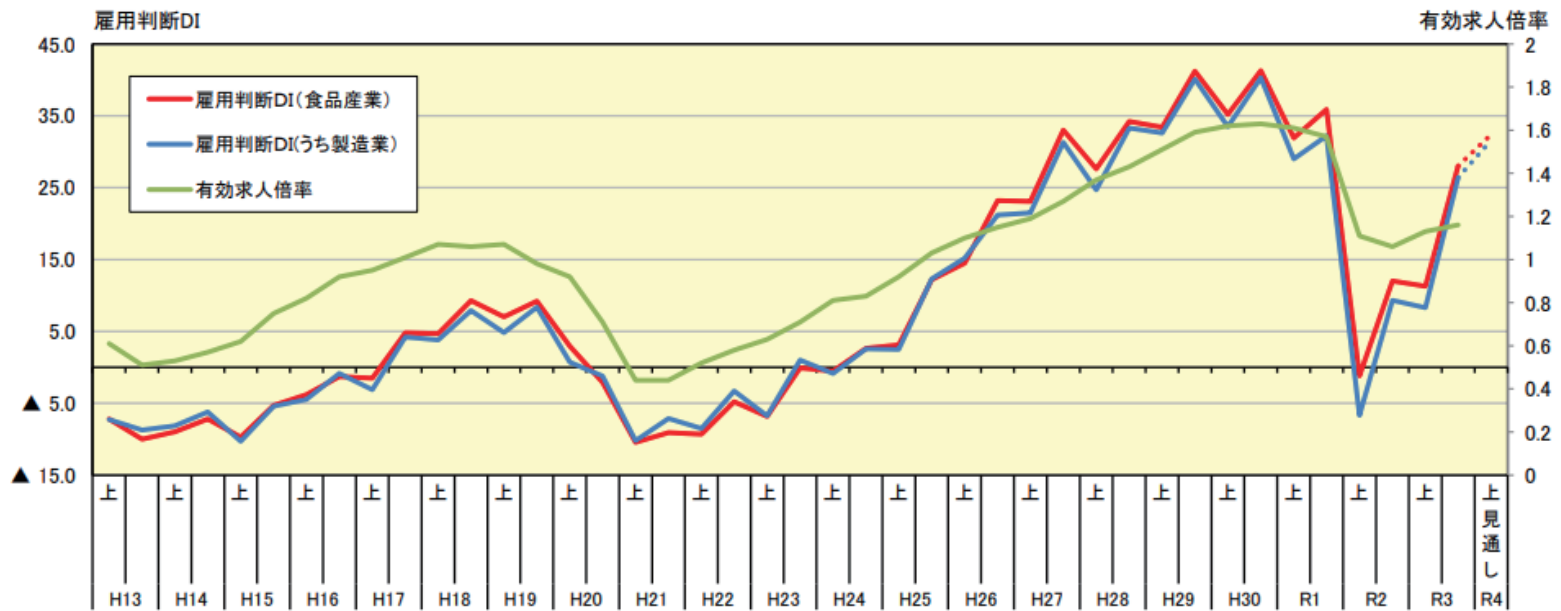
【参考】CO₂回収フロー（化学吸収法）



14-①. 食品業界の人手不足

人手不足など社会問題の解決・改善策として注目が高まる
「遠隔サービス、メンテナンス」

食品産業の景況について（雇用判断DI ※） ※「不足」の割合から「過剰」の割合を引いた値



	平成28年 下半期	平成29年 上半期	平成29年 下半期	平成30年 上半期	平成30年 下半期	令和元年 上半期	令和元年 下半期	令和2年 上半期	令和2年 下半期	令和3年 上半期	令和3年 下半期	令和4年 上半期 見通し
食品産業	34.2	33.4	41.2	35.2	41.3	31.9	35.9	▲ 1.2	12.0	11.3	28.0(+16.7)	32.4(+4.4)
うち製造業	33.3	32.6	40.1	33.5	40.3	29.0	32.2	▲ 6.7	9.3	8.3	26.4(+18.1)	31.6(+5.2)

()は前回との差

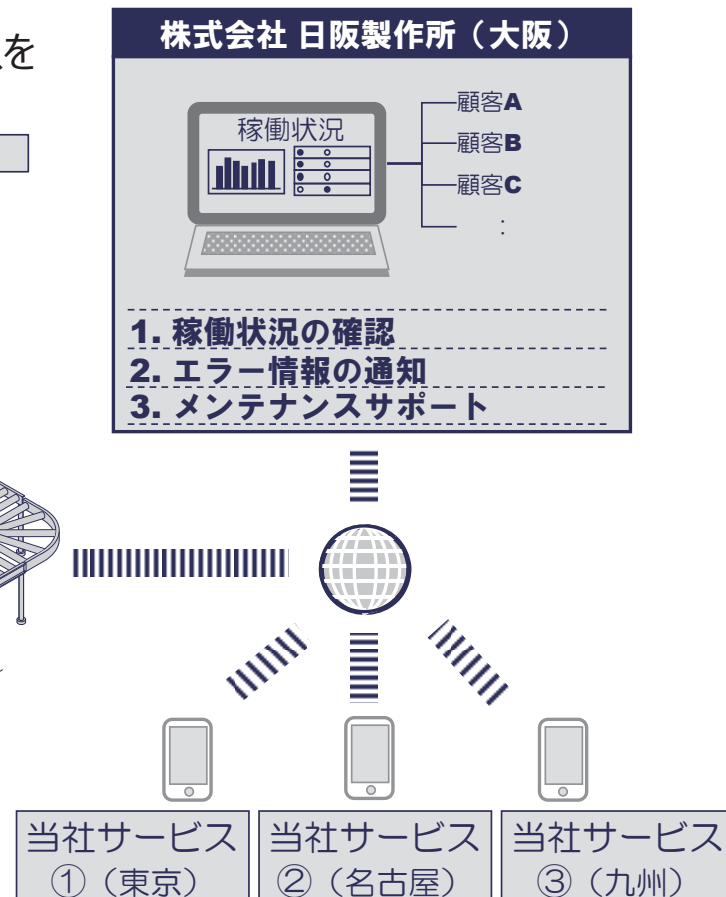
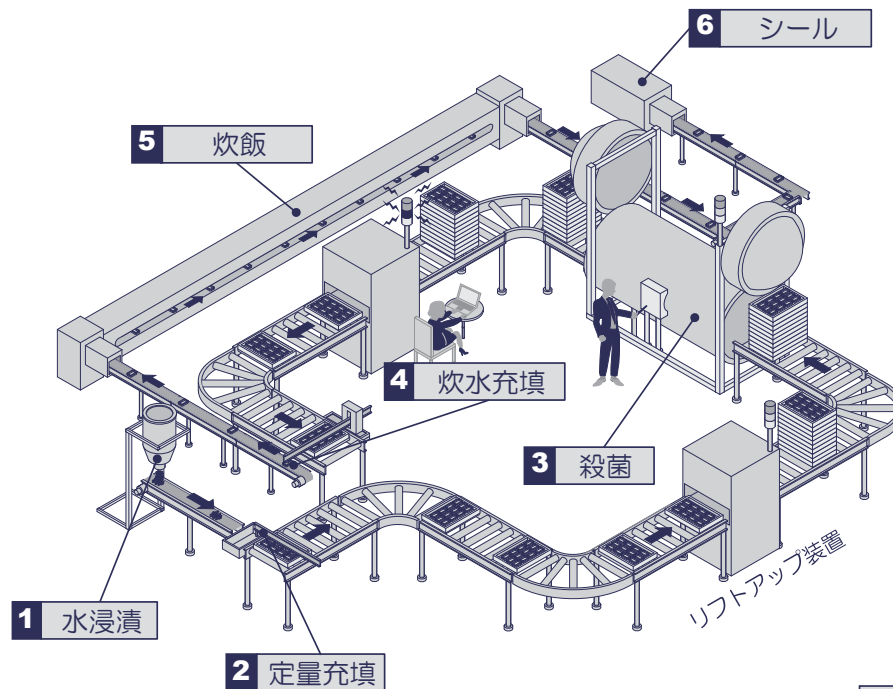
日本政策金融公庫 食品産業動向調査（令和4年1月）

14-②. 食品機器のIoT

▶ IoTを用いた遠隔サポート・メンテナンス体制の提供

【ポストコロナの食品機器事業】

全国どこからでも、遠隔サポートやシステムメンテナンスを実現し、更なる食品プラント販売事業の拡充を図る。



14-③. DXによる新たな事業インフラ

▶ IoTを用いた遠隔サポート・メンテナンス体制の提供

メーカーの「つながる」安心で差別化

導入前

煩雑なデータ管理

急なトラブル、
メンテナンスの頻発

設備保全・管理の
人手不足

メンテナンス時の
情報伝達ミス

課題

- ▶ 生産性の大幅な低下
- ▶ 稼働状況の把握が困難

導入後

データの可視化と
稼働状況の把握

予防保全による
緊急対応の削減

トラブルの自動検知

メンテナンスの
効率化

効果

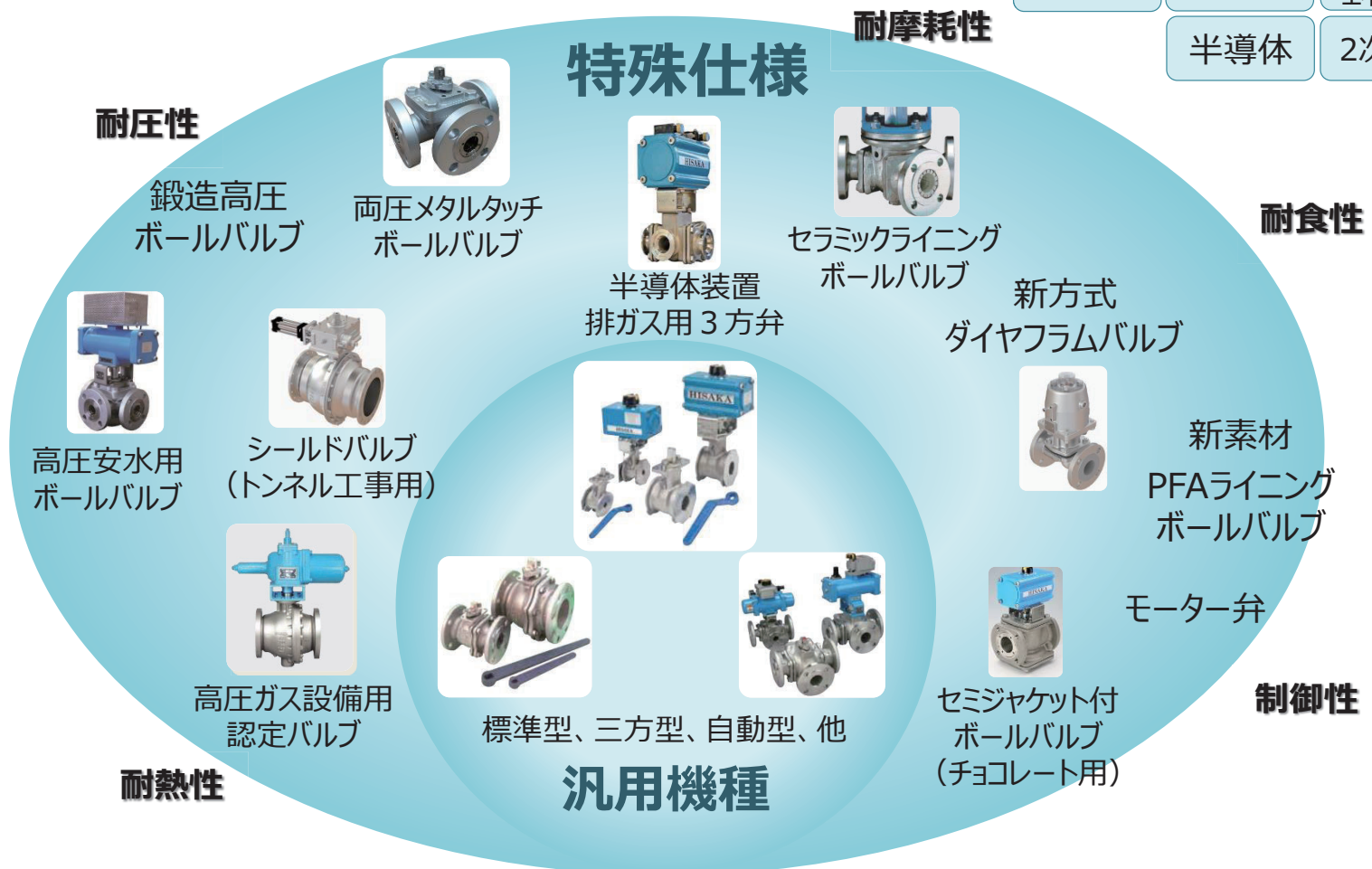
- ▶ 設備の安定稼働と作業の効率化
- ▶ 稼働状況の見える化で生産性改善

データを蓄積し、新たな製品・サービスの開発へ

15-①. 多種多様なバルブのラインアップ

様々な業種の顧客の利用シーンに合わせ、
個別課題に対応した用途限定弁をラインアップ

化学	製鉄	紙・パルプ
食品	環境	電力・エネルギー
	半導体	2次電池

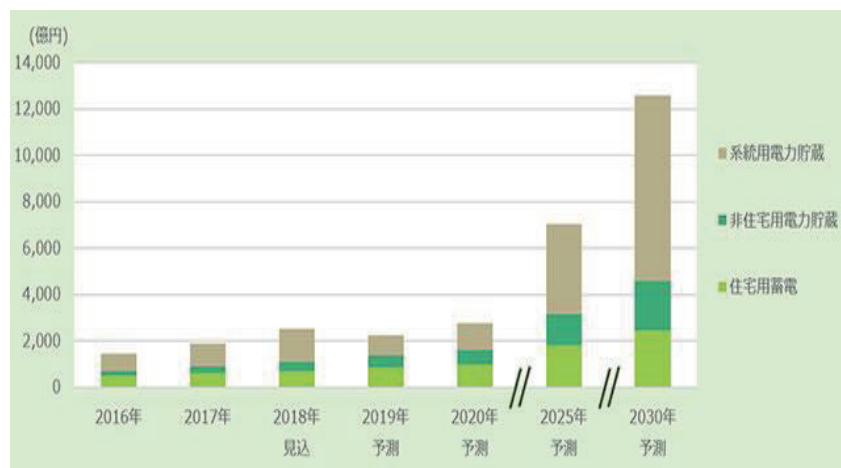


15-②. 二次電池業界向けボールバルブ

■需要が増加している二次電池業界

- 世界的なEV（電気自動車）の普及（非住宅用電力貯蔵）
- 家庭用太陽光発電システムとの組み合わせ（住宅用蓄電）
- 再生可能エネルギーの電力安定供給を目的とした電力貯蔵システムの需要拡大（系統用電力貯蔵）

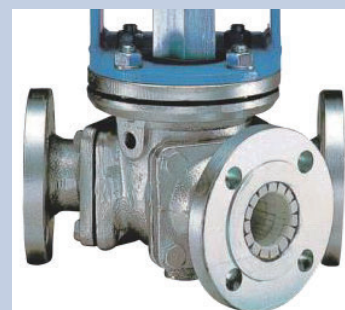
＜二次電池の世界市場予測＞



出典：株式会社富士経済
「エネルギー・大型二次電池・材料の将来展望2018 動力・電力貯蔵家電分野編」

＜二次電池業界向けバルブ＞

セラミックライニングボールバルブ



＜用途＞

- 二次電池原料（粉体）の制御

＜構造＞

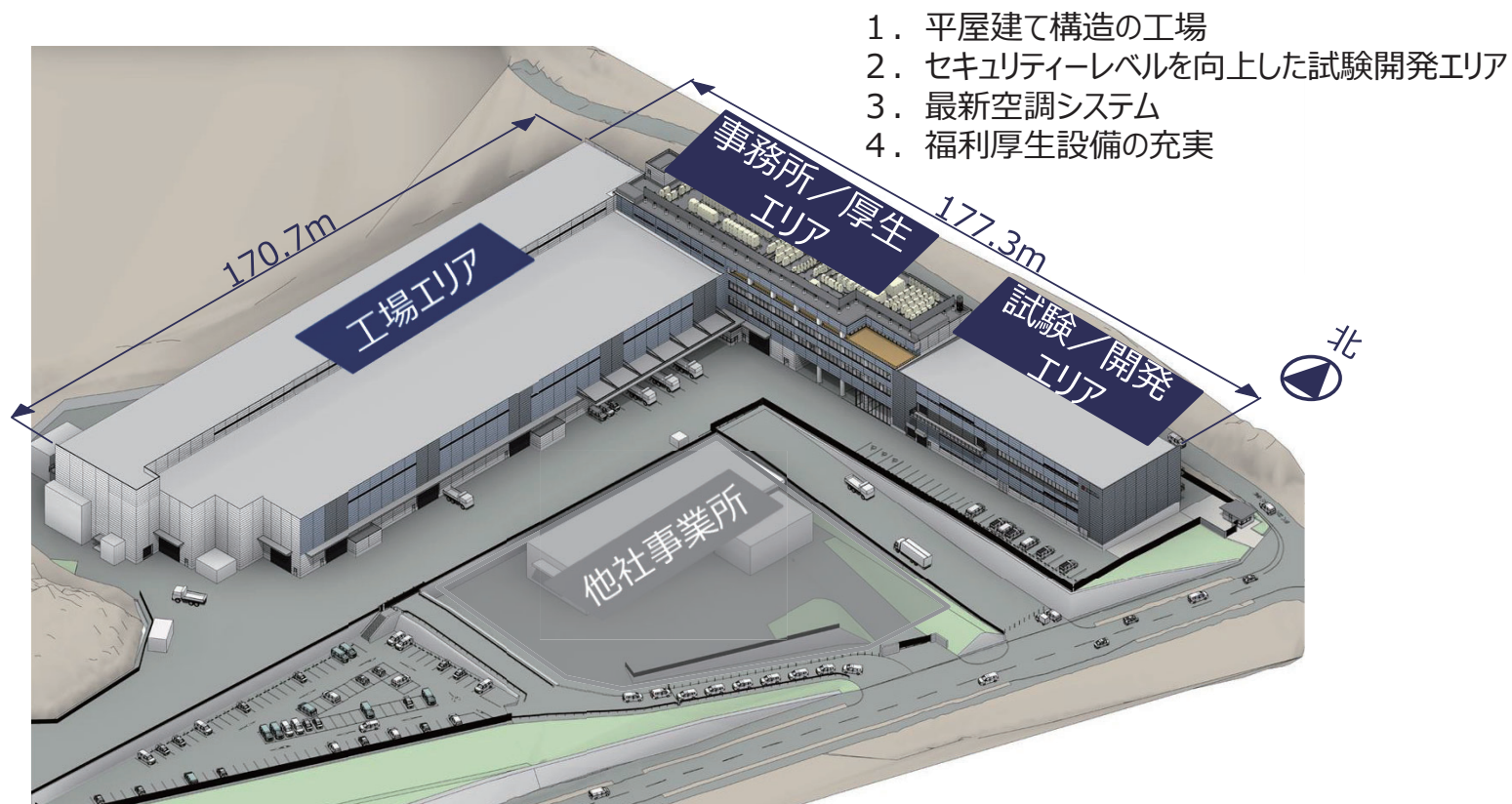
- セラミックライニング（内面にセラミックチップを貼り付け）

＜特長＞

- 耐摩耗性

16. (トピック紹介) 生駒事業所 建設進捗状況

生産能力増強に向けて、プロセスエンジニアリング事業の工場を建設中。
造成工事完了し、建屋建築に着手。23年度稼働予定。



<お問い合わせ先>

(株)日阪製作所 経営企画本部 経営戦略部

WEB : <https://www.hisaka.co.jp>

e-mail : ir@hisaka.co.jp

TEL : 06-6363-0015

〒530-0057

大阪市北区曾根崎2-12-7 (清和梅田ビル20階)



～ロゴマークの由来～

日本の「日」とステンレス (STAINLESS) の「S」を組み合わせてデザインした。また、丸い形は成熟を表しており、豊かな人間性をもって社員と製品がともに成熟していくようにという願いを込めている。

～社名の由来～

日本の中でも商いの町の代名詞である大阪のような活気あふれる会社になりたいとの願いを込めて、日本の「日」と大阪の「阪」をとり、「日阪製作所」と命名した。

(注) 本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想に達成、及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報が今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報および資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合を確認し、利用者の判断によって行ってくださいようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。